



<VOL91 2015.7>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長 Wichian Boonmapajorn
アジア地域会長 Edward K.W.Ong
東日本区理事 渡辺 隆
北東部長 中川 典幸
もりおかクラブ会長 大関 靖二

「信念のあるミッション」
「愛をもって奉仕しよう」
「原点に立って、未来へステップ」
「今と原点を融合して未来へ」
「明るく、楽しく、いきいきと、生かそう経験、感謝の心で」

今月の聖句 マタイによる福音書4章10節

「あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ。」

会長 山口 貴伸
副会長 花松 行雄
副会長 菊池 崇江
書記 濱塚 有史
会計 大関 靖二
担当主事 小川 嘉文

成27年8月第一例会のご案内
日時 平成27年8月8日(第2土曜日)午後6時30分
場所 南大通「大吉」 会費3,500円
卓話 納涼例会です。たのしみましょう。
第二例会 平成27年8月21日(第3金曜日)
場所 十割そば。

大関会長巻頭挨拶



大関会長

皆様こんにちは、今年は暑い日が続いています、体調にはくれぐれもご注意ください。もりおかクラブもチャーター依頼9年に入りました。私も2回目の会長職になります。本年度の方針の中で特に実行したい事が2つあります。1つはワイズの主目標であるYMCAの応援です。財政上の問題もあり、金銭的な応援には厳しい所もありますが、スタッフ、リーダーの能力向上になる為には最大限努力したいと思っています。又、ワイズメンが人的応援できる事があれば積極的に関与していきましょう。2つ目は、財政上の健全経営を確立しようという事です。そのためにはまず、新規会員の増員が必要です。もう1度「ワイズメンズクラブとは何か」を理解した上で会員増強進めましょう。そして、現在行っているファンドを改めて点検しましょう。目標を定め、現実的な行動で実施できるよう考えましょう。これらを主目標とした上で、宮古に新クラブの設立の足固めをしたいと思っております。

設立の為の準備計画書を作成し、焦らずたとえ遠回りでも1つ1つ確実に実行して行きたいと思っております。

色々実行予定を述べてきましたが、例会は主題にあるように楽しい雰囲気で行い、皆さんから必ず1人1声が聞ける例会にいたいと思っております。今年1年どうぞよろしくお願いいたします。

会長方針

- 被災地支援と被災地交流の充実
前年度からの方針を継続し宮古に新クラブ設立を推進する。
- YMCAへの積極的な支援と関与
例会時リーダーを招待し活動状況を理解しクラブとして積極的に支援する
- 新会員の増員に努める
今期中に15人のメンバー確保を図る。友人知人を積極的に例会に招待しクラブの活動を理解してもらい新規会員増に努める
- DBC交流を図る
芦屋クラブ、岩国みなみクラブとの交流を年1回交互の交流を図る
- クラブの健全経営を推進する。

会員減少により厳しい状況になっている。無駄をなくし、ファンドの充実を図る。

以上、明るく、楽しく、いきいきと、活かそう経験、感謝の心で。よろしく願いいたします。

第一例会の報告「キックオフ例会」

平成27年7月11日、きのえね本店で開催。出席者、山口、長岡、小川、大関、三上、三田、井上、井上優子（敬称略）8名の参加になりました。



山口直前会長よりバッチの引き継ぎ

さあ、新年度の始まりです。直前会長の山口メンから、新会長の大関メンへ会長バッチを引き継ぎ。大関体制の開始です。大関メンは2回目の会長職。この間、最大の行事東日

本区大会を仕切った経験があり、発足2年目の会長職の時よりはゆとりが有りそうです。しかし、今期は課題が山積みです。会員の力を結集して難局を乗り越えていきましょう。

一連のメニューをこなして、懇親タイムに入りました。崇江さんの病状の話や、井上さんの体調の話。みなさ

ん健康には充分注意していきましょう。お酒も入り、ここで芦屋クラブ上野メンからいただいた日本酒の登場です。純米吟醸「福寿」、全員で頂いたあと、日本酒大好きの大関さんがもらって帰るから、もうもう飲まないでね。とリクエスト。いいよ～もってって。でも感想は後で聴かせてね。その後、一晚の飲酒量を越えて、一気に召しあがったそうな、大好きな人が、美味しく頂くのが貰った側の誠意でありましょう。もりおかクラブらしさ全開のキックオフ例会の夜は更けていったのでした。



もりおかクラブのバナーは日本一美しい。そう思うよね、優子さん。

宮古夏祭り、魚彩市場のイベントに参加

7月26日、ネパール地震被災地支援金の確保と、宮古市内の高校生、大学生のボランティア育成を目的に開催。大学生2名、高校生4人、宮古の佐々木千賀さん、三浦さん、VCより、堀田さん、濱塚さん、そしてもりおかクラブの大関、井上、井上優子、長岡が参加。



販売品はうす焼き和風お好み焼き。これは濱塚メン十八番の得意料理。まずは、作り方のレクチャー、焼いて見せたのは千賀さん、具材を高校生に1品ずつ任せて焼いてみました。1回目は、ぎこちない動作でも何とか焼きあがり、みんなで試食。おいしいじゃん、いけるよ。

2回目は高校生中心、鉄板の温度が上がって来て、焦げてきた、スピードが遅い。長岡の指摘でスピードアップ。2回目も成功、よしこの調子で仮設住宅に届ける50枚を焼くぞ～。スムーズな流れ作業開始。

ここからはネパール地震への援助金のために販売だ、1枚

100円、売り安い。焼け焼け～、売れ～。長岡の気合いの入った掛け声で、高校生もコツをつかみ、早いもの。そして、かたっぱしから売れる、売れる。お昼を挟んで午後2時まで140枚販売、1万4千円の売り上げ。粗利は1万円くらいかな。でもネパールに行けば10倍の価値があると思うので、10万円にはなるな。充実した疲労が心地いい店じまいでした。



みなさん、お疲れ様。ありがとうございました。またのむよ～

北東部2015～16年度、キックオフ第1回評議会開催

7月25日仙台YMCAにて、北東部の第1回評議会を行いました。北東部もキックオフです。部長は仙台クラブ、中川典幸メン。書記、横倉メン。会計、吉田一恵ウィメン。新体制です。

中川部長

部長方針

- 1、現会員のYMCA維持会員への加入を促すと共に新入会員全員のYMCA維持会員加入を目指す。
- 2、北東部各クラブの会員増強と若返りのために必要な情報の共有と部としてのサポートを模索して実行する
- 3、部の事業を活性化させるため、基本となるクラブの活性化

をめざす。

- 4、区の運営と、部の運営の連携をスムーズにするための意思疎通を図る。



みなさん、よろしく願いします。張り切っていきましょう

もりおかクラブからは、大関メン、井上メン、長岡メンの三人が参加、次年度はもりおかクラブがホストクラブになります。

「ブリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

7月の出席率	8/12	75 %	ゲスト0名	ビンター0名				
メーキャップ	0	名		7月切手	0 g	累計	0 g	
7月のにこにこ		円	累計	0 円	7月プルタブ	0 g	累計	0 g
7月 石鹸	0	円	累計	0 円	りんご	0 円	累計	円
7月震災募金	0	円	累計	0 円	ファンド合計	0 円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会長兼会計 大関 靖二

7月のハッピーバースデー 7/18 井上 優子メネット 誕生日おめでとうございます。

明治日本産業革命遺産、世界遺産に登録

日本に点在する明治時代の産業革命遺産が世界遺産に登録されました。この中に釜石市の橋野高炉跡が含まれています。橋野高炉跡は明治時代の前、江戸時代末期に南部藩が西洋の大砲に対抗出来る武器を作るために日本で初めての西洋式高炉を建てたのでした。すこし勉強してみましょう。

幕末、鎖国をしていた日本に欧米列強が開国を迫り、その脅威を打破するために欧米のような鉄製の大型の大砲を作ろうと、佐賀藩を先駆けとして日本各地に反射炉が作られました。しかし、日本古来からの「たたら製鉄」法により砂鉄を原料として作られた大砲では、性能

の優れた欧米の大砲には太刀打ちできませんでした。薩摩藩士の竹下清右衛門(たけしたせいえもん)などと共に水戸藩の反射炉建設に携わった盛

岡藩士の大島高任(おおしまたかとう)は、大砲の素材には良質な鉄鉱石を原料とした銑鉄が必要と考え、盛岡藩大槌通甲子村大橋(現岩手県釜石市甲子町大橋)にU・ヒュゲーニン著の『ロイク王立鉄製大砲鑄造所における鑄造法』を参考として洋式高炉を建設し、安政4年12月1日(1858年1月15日)、日本初の連続出銑に成功しました。大島高任は、その後明治政府においても技術者として高く評価され日本鉱業界の第一人者として活躍したことから、近代製鉄の父と称されています。橋野(現釜石市橋野町青ノ木)の高炉は、その成功から盛岡藩が製鉄業に乗り出し、大島高任などの指導により1858(安政5)年から1860(万延元)年ごろにかけて高炉3基が建設されたものです。釜石地域では明治初期までに7か所13基の高炉が建設されましたが、橋野は当時国内最大の鉄鉱山でした。1957(昭和32)年6月3日には、我が国に現存する最古の洋式高炉跡として、国史跡に指定されています。また、1984(昭和59)年には、アメリカ金



学会から歴史遺産賞(HL賞)が贈られました。橋野鉄鉱山・高炉跡は、採鉱(鉄鉱石採掘場)、運搬(運搬路)、そして製錬(高炉場)に至るまでの製鉄工程を総合的に把握できる遺跡で、高炉操業に欠かせない木炭を供給した周辺地域の森林景観とともに良好な状態で保存されています。

高炉場には、高炉石組のほか高炉への送風装置であるフイゴを水車によって動かすための水路などの製鉄関連施設や御日払所と呼ばれる事務所、山神社などの遺構があります。また、鉄鉱石採掘場は南側約2.6kmの山中にあり、露天掘りの跡が残っています。この採掘場から高炉場まで下る川沿いには、牛や人力により鉄鉱石が運搬された運搬路跡が残っています。

高炉操業は1894(明治27)年までの約36年間で終わりましたが、採掘場における鉄鉱石の採掘はその後も継続されました。釜石地域における洋式高炉群の成功は、明治政府による1874(明治7)年の官営釜石製鉄所建設の

決定につながります。外国人技師の指導により建設されたこの製鉄所は1880(明治13)年に操業が開始されますが、2年半で失敗に終わり、それを引き継いだ民営の釜石鉱山田中製鉄所は、初期において小規模な木炭高炉技術を踏襲しながら発展します。その後、同製鉄所の顧問となった東京大学教授の野呂景義(のろかげよし)が官営製鉄所時代の25t高炉を改修し、1894(明治27)年に日本初のコークスを燃料とした出銑に成功。この成功が、本格的近代製鉄所である官営八幡製鉄所の創業に大きく貢献しています。

写真を見る限り、説明を受けないと高炉跡であるというイメージは湧きませんが、専門家がみればきっとすばらしい物なのでしょう。ここで作られた鉄が、戦争の武器になったのであれば。すこし複雑な気持ちになります。産業や機械の発展は武器技術からだとも聞きました。牛で田畑を作っていた時代、0戦ですから。

体験農場今年も始まりました。蕎麦の種まきです。

7月12日(日)やぶかわ体験農園でのそばの種まきにでかけました。No2の区画を得、担当者よりの今年の気候についての説明によると雨は例年の1/2とのこと。播き方の説明をうけ、早速仕事に。直播き、ばら播きの2種あるうち、そば刈りの作業を考え、ばら播きを選び、長靴で苗床をつくる、種を播く、ならすと大関、井上の2人で素早い作業。新しい農園仲間もでき天候にも恵まれよき日でした。因みに長靴をわすれ、役にたつことができなかった、井上メネは鶯の声に、耳を傾け、蝶々の戯れる様

子を楽しみ、ブルーベリーの木を初認識、ハスカップの実を食べ別の楽しみ方を満喫。盛岡は33度の真夏日となりました。



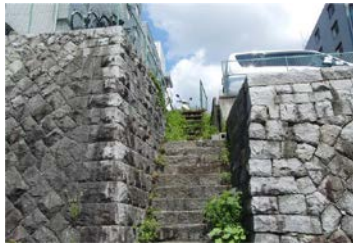
長靴で苗床つくり種播く井上メネ



熊手で種を埋める大関メネ

ほっ〜、材木町の裏石組

北上川の材木町側にある石組みの護岸壁を「材木町の裏石組」と言うのだそうです。この年になるまで知りませんでした。全長361m、石の組型が3種類あります。それと高さがまちまちで、上の住宅の境目で、組型が替わっているのです。



私が作った石組、あなたが作った石組



組み方も高さも違う



洪水対策で行政が行った工事であれば、こんなまちまちな仕上げになるはずがありませんので、これは、当時の住宅に住んでいた個人個人が自分の敷地分を工事

したと考えられています。この石組み工事を行ったときに、住民

を統制できる行政が存在していたかは定かではありません。誰が造ったという記録もないそうです。面白いですね。石組みの途中には石段があり、昇り降りしていたのでしょう、今は石段があっても行き止まりの石段が多かったです。一部上の敷地に入りにできる石段もありました。個人宅の敷地の庭に出てしまって、戻りました。この事からも、私(わたくし)の護岸工事だったと思われる。実際、この階段を下って洗いものや洗濯をしたという記録は有るそうです。いつから川を利用しなくなったという、松尾鉱山の鉱毒水が流れ込み、赤い川になった頃だということです。私が子供の頃は、北上川と雫石川、中津川の合流地点で赤い水と清流が混じりあい、「きれいな水ががんばれ」などと思った記憶があります。私財を投じて洪水対策をした盛岡の先人に敬意を払います。現代では考えられない事です。ミラクル盛岡の再発見、「材木町の裏石組」でした。



北上川と裏石組の全景



石組の守護神?

編集後記

ちょっと多くの余白が出来てしまいました。現在30日午前4時です。キックオフリテンが完成しようとしています。

明治産業革命の世界遺産登録に、なんと韓国が反対していたのです。戦時中に強制徴用があつて韓国人の人権を無視した行為があつたとの理由でした。その事実の本質は別として、釜石の橋野高炉跡は江戸時代末期から明治の初めの頃ですので韓国の言い分は全くあたらない事は事実です。半世紀以上前の事を昨日のことに言うのはもうやめて、仲良くいきましょう。

さあ、大関新体制の始まりです。もりおかクラブはやらなければいけない事が山積です。新会員の確保、宮古の新クラブ設立、ファンドの拡充。あ、そういえば、昨晚29日、西宮クラブの山本

メンから、わかしお石鱈の各種詰め合わせとカタログを送ってくださいと電話がありました。嬉しかったです。日本の環境を守るためには、わかしお石鱈です。どうぞよろしく願いいたします。

昨日、北東北の梅雨明けが宣言されました。もう1週間前から梅雨はおわっていたような気がします。あれ？関東や北信越はまだ梅雨明けしてないような気がします。明けましたっけ？空梅雨の影響で、花巻の北上川にあるイギリス海岸がその全容を20年ぶりに見ることができるそうです。何年か前に取材した時はよくわかりませんでした。今度行ってみます。

北国の夏は短いです。明後日の8月1日からは盛岡さんさ踊りが始まります。この夏を楽しみましょう。それにつけても健康第一、熱中症にはくれぐれもご用心です。

